

片瀬のぞみだより(12月号)

日本基督教団片瀬教会付属
片瀬のぞみ幼稚園
家庭通信2016. No.21

月主題聖句

『おめでとう、恵まれた方、主があなたと共に
おられる』

ルカによる福音書1章28節

片瀬教会牧師 柴 適

今年もクリスマスがやって来ました。素敵にクリスマスイルミネーションの光が輝き、道行く人にクリスマスの到来を告げ、その光の美しさの中に喜び楽しんでいるようです。光がいかに私達に安らぎと潤いと喜びを与えてくれるのかと驚くばかりです。さて、クリスマス(Christmas)とは、『クライスト+マス(Christ+Massの合成語)』つまりキリストを礼拝するという意味で、それはイエスキリストの誕生を礼拝する、あるいは祝うという意味になります。今年のクリスマスシーズンは11月27日のアドベント(待降節、降誕前節と言いつつ来べきとか来臨の意味)から2017年1月6日のエピファニー(公現日)までになります。そして、教会の暦では、アドベントから2017年が始まります。クリスマスと言えば、ローソクで表わされます。ローソクはイエスキリストの誕生のシンボルで、ローソクの光がイエスキリストの生涯のしるしです。ローソクは、四本立てられます。この四本は、イエスの誕生前の4週間を表しています。この4本のローソクを毎週一本ずつ備えていきます。4週間のローソクの色は、紫色(待望・悔い改めの意味)を用います。そして、クリスマス、色は赤か白です。

4本のローソクの意味は『一週間目』は『希望』を表します。

キリストの誕生の預言が誕生前の預言として旧約聖書のイザヤ書9章5節～6節に『ひとりのみどり子がわたしたちのためにうまれた。ひとりの男の子がわたしたちに与えられた。権威が彼の肩にある。その名は、「驚くべき指導者。力ある神、永遠の父、平和の君」と唱えられる』あります。この『預言の希望』としてあらわされます。

『二週間目』は『平和』を表します。

ルカによる福音書聖書の2章14節に天使の言葉として『地には平和、御心に適う人にあれ』と告げた『平和』を表します

『三週間目』は、『喜び』を表します。

ルカによる福音書2章10節の『大きな喜びを告げる』の『喜び』です。

『四週間目』は、『愛』を表します。

イエスキリストの誕生は、神様の人類に対する『愛』のしるしです。

ローソクは灯していると段々と自分の形がなくなるが、私たちには光を提供します。イエス・キリストは、自分の命を捨ててまでも、人々を罪から救い出す『主メシア・救い主』で、それをローソクで表したものです。このローソクは、神の人類に対する全き愛のしるしです。

◎ ローソクの色は次の意味があります。

- ① 緑色はエバーグリーン(常緑樹・神の永遠性)
- ② 赤色は(イエスキリストの十字架の血)
- ③ 白色は(純粋な心・清らかな心・クリスマスに降る雪の色)
- ④ 紫色は(待望・悔い改め)
- ⑤ ゴールド色は(黄金・王のしるし)

◎ 飾り(オーナメント)の意味

- ① リース(丸い輪はいつまでも終わらない、・神の永遠性・永遠の命)
- ② もみの木・ヒイラギ・常緑樹(いつまでも葉が落ちない(一年中色を変えずエバーグリーンの木で強い生命力から希望の木とされ、永遠の生命の象徴)
- ③ ヒイラギのとげ(イエスの十字架における茨の冠・苦痛、苦難)

さてイエス・キリストの誕生のくだりは、初代皇帝アウグストゥスの勅令による人口調査により故郷に帰る途中のヨセフとマリアの中で起こった出来事として記されています。今月の月主題は『喜び』です。その喜びとは『恵まれた女よ、おめでとう。主があなたと共におられます』の聖書の言葉を世界中の人々と共に喜ぶことです。幼子イエス・キリストはマリアの胎の中に宿り、飼い葉桶の中で誕生しました。『貧しさや低さや無力の無防備の極限の底辺の姿』の象徴として『全人類と共にいて徹底した低き所での誕生を意味しているのです。クリスマスは『飼い葉桶の中のイエス・キリストがへりくだりの限りをつくし、神の憐れみ、慈しみの限りを全人類に示された愛の出来事、全ての人を照らすまことの光として平和の君として誕生した日なのです。それは、神が独り子イエス・キリストにその愛の奇跡『主があなたがたと共におられる』の実現を喜ぶ日なのです。今年もクリスマスを皆様と共に祝いいたしましょう。